

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月24日

福岡県知事 殿

提出者 〒810-0062 福岡市中央区荒戸1丁目3-21-401号
eco'z 株式会社
 住 所 代表取締役 畠山誠蔵
 氏 名 TEL092-761-4915 FAX092-725-5160
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、**5** 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	eco'z 株式会社
事業場の所在地	〒810-0062 福岡市中央区荒戸1丁目3-21-401号
事業の種類	職別工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	6057 t	全処理委託量	6057 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	590 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	5467 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

- 6.5.28



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： コンクリート破片)

有 債 物 量
① 4077

不 要 物 等 廃 生 量
② 再生利用を行った量

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
③

排 出 量
① 4077

自ら中間処理した量
④

項目	実績値
①排出量	4077 t
②+③自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑥自ら中間処理により減量した量	t
⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑧自ら中間処理した後の残さ量	⑥
⑨自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑤
⑩直接及び自ら中間処理した後の委託量	⑩
⑪優良認定業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4077 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行いう業者への処理委託量	t

自ら中間処理した後、 再生利用した量
⑧

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 4077

自ら中間処理した後、 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
⑨

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

自ら中間処理した後、 直接及び自ら中間処理した後の 委託量
⑩

⑪のうち熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量
⑭

⑪のうち優良認定業者への 処理委託量
⑯ 0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： アスコン石炭片)

有 傷 物 量
① 84 t

不 要 物 等 発 生 量
② 再生利用した量

自ら直接再生利用した量
③

排 出 量
④ 84 t

項目	実績値
①排出量	84 t
②+③自ら再生利用を行った量	t
⑥自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
⑧自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	84 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	84 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行いう業者への処理委託量	t

自ら中間処理した後再生利用した量
⑤

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑩

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑪

⑪のうち再生利用率業者への処理委託量
⑫ 84

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑭

84

0

計画の実施状況

(産業)廃棄物の種類

量物價有

不要物等發生量

排 出 量
① 130

項目	実績値
①排出量	130 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	130 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	130 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら直接
再生利用した量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した量
④

自ら中間処理により減量した

130
⑩
直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑪のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行なう業者への処理委託量	⑪

⑩のうち懲良認定
処理業者への
処理委託量

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類)

ガラスくず等

卷之三

(第2面)

有 債 物 量		排 出 量		不 要 物 等 発 生 量	
項目	実績値	①	②	③	④
①排出量	39	39	39	39	39
②+⑧自ら再生利用を行った量					
⑤自ら熱回収を行った量					
⑦自ら中間処理により減量した量					
⑨自ら埋立処分又は海洋投げ处分を行った量					
⑪全処理委託量					
⑪⑬良認定業者への処理委託量	0	0	0	0	0
⑫再生利用業者への処理委託量	39	39	39	39	39
⑯熱回収認定業者への処理委託量					
⑰熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					

②	自ら直接 再生利用した量	
③	自ら直接埋立処分又は 海上投入処分した量	
④	自ら中間処理した量	
⑤	④のうち熱回収 を行った量	

自ら中間処理した後
再生利用した量

④のうち熱回収を行った量	⑤	自ら中間処理した量	⑥	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑦	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑧	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑩	⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑫	⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑬	⑪のうち再生利用 業者への処理委託量	⑭	⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑮
⑪のうち再生利用 業者への処理委託量	⑯	⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑰	⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑱	⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑲	⑪のうち再生利用 業者への処理委託量	⑳	⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	㉑	⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	㉒	⑪のうち再生利用 業者への処理委託量	㉓	⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	㉔		

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 麻 1テスクイック類)

有 債 物 量
0 t

不 要 物 等 発 生 量
0 t

排 出 量
2 / t

項目	実績値
①排出量	t
②+③自ら再生利用を行った量	t
⑥自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
⑧自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2 / t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	2 / t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
② t

自ら中間処理した量
④ t

自ら中間処理した 後の残さ量
⑥ t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦ t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
⑨ t

直接及び自ら 中間処理した後 の処理委託量
⑩ t

2 /

⑪のうち再生利用 業者への処理委託量
⑫ t

⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑬ t

⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行なう業者 への処理委託量
⑭ t

⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑮ t

0

計画の実施状況

(産業)廃棄物の種類

木くす

量物償有

量生豬等物不要

自ら直接 再生利用した量

量出排① 1457

項目	実績値
①排出量	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑥自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	1457 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	588 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1457 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら直接
再生利用した量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した量

④のうち熟回収を行った量

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

直譲及び自ら
中間処理した後の
の

10

1457

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 磨石膏 バート)

有 備 物 量

不 要 物 等 発 生 量

自ら直接
再生利用した量
②

拠 出 量
① 46 t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

項目 実績値
①拠出量 46 t
②+③自ら再生利用を行った量 t
⑥自ら熱回収を行った量 t
⑦自ら中間処理により減量した量 t
⑧自ら埋立処分又は海洋投
入処分を行った量 t
⑩全処理委託量 46 t
⑪優良認定処理業者への処理
委託量 0 t
⑫再生利用業者への処理委託量 46 t
⑬熱回収認定業者への処理
委託量 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回
収を行う業者への処理委託量 t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥

自ら中間処理によ
り減量した量
⑦

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫

⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑯

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭

⑩のうち優良認定
業者への
処理委託量
⑯

46

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石綿含有産業廃棄物)

有 傷 物 量
6

不 要 物 等 発 生 量
0

排 出 量
6

自ら直接 再生利用した量
②

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量

項目

実績値

①排出量

②+③自ら再生利用を行った量

④自ら熱回収 を行った量

⑤自ら中間処理により減量した 量

⑥自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った量

⑦自ら中間処理した量

⑧自ら中間処理した量

⑨自ら優良認定業者への処理 委託量

⑩再生利用率への処理 委託量

⑪熱回収認定業者への処理 委託量

⑫熱回収認定業者以外の熱回收 を行いう業者の処理委託量

自ら中間処理した後 再生利用した量

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量

(第 2 面)

⑪のうち再生利用率 業者への処理委託量

⑫のうち熱回収認定 業者への処理委託量

⑬のうち熱回収認定 業者以外の業者 への処理委託量

⑭のうち熱回収認定 業者への処理委託量

⑮のうち優良認定 業者への処理委託量

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 混合(安定型)ナ)

有 債 物 量
4

不 要 物 等 発 生 量
0

排 出 量
4 t

自ら直接 再生利用した量
②

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量

項目	実績値
①排出量	4 t
②+③自ら再生利用を行った量	t
④自ら熱回収 を行った量	t
⑤自ら中間処理により減量した 量	t
⑥自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った量	t
⑦全処理委託量	4 t
⑧優良認定処理業者への処理 委託量	0 t
⑨再生利用業者への処理委託量	4 t
⑩熱回収認定業者への処理 委託量	t
⑪熱回収認定業者以外の熱回収 を行いう業者への処理委託量	t

自ら中間処理した後 再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量

⑨

自ら中間処理した 後の残さ量

⑥

自ら中間処理によ り減量した量

⑦

直達及び自ら 中間処理した後 の処理委託量

⑩

⑯のうち再生利用 業者への処理委託量

⑫

⑯のうち熱回収認定 業者以外の業者 への処理委託量

⑭

⑯のうち優良認定 処理業者への 処理委託量

⑮

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 混合(管理型含む))

有 償 物 量
① 24 t

不 要 物 等 発生量
② 0 t

自ら直接 再生利用した量
② 0 t

排 出 量
① 24 t

項目	実績値
①排出量	24 t
②+③自ら再生利用を行った量	t
④自ら熱回収を行った量	t
⑤自ら中間処理により減量した量	t
⑥自ら中間処理により減量した量	t
⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑧自ら中間処理した量	t
⑨自ら中間処理した量	t
⑩全処理委託量	24 t
⑪廻良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	24 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	t

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑧ 0 t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行な う業者への処理委託量
⑫ 24 t

自ら中間処理した 後の残さ量
⑥ 0 t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦ 0 t

直接及び自ら 中間処理した後 の処理委託量
⑩ 24 t

⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行なう業者 への処理委託量
⑫ 0 t

⑫のうち再生利 用業者への処理委託量
⑫ 24 t

⑫ 24 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 純木くず 魚粉)

有 債 物 量
0 t

不 要 物 等 発生量
0 t

排 出 量
0 t

自ら直接利用した量
0 t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0 t

項目	実績値
①排出量	0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑥自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑪全処理委託量	t
⑪優良認定業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者の処理委託量	t

自ら中間処理した後再生利用した量
0 t

自ら中間処理した後の残さ量
0 t

自ら中間処理により減量した量

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。